

BBS GROUP NEWS

VOL.66 JANUARY 2024

お客様とBBSをつなぐコミュニケーションツール



CONTENTS

- Page 2 — セミナーレポート BBS FORUM 2023
Page 4 — 鼎談 BBS、そしてお客様の未来を見据えて
代表取締役社長 × 執行役員 RPA 研究所 所長 × CPA 室 室長
小宮 一浩 × 長崎 珠美 × 小林 崇志
- Page 6 — サービス紹介 人的資本経営診断サービス
Page 7 — 絵画コンクール受賞セレモニー
Back cover — NEWS

SX時代の 人「財」を考える

2023.11.15 (Wed) 13:30-19:00

in 東京コンファレンスセンター・品川

人「財」をテーマに、3名のスピーカーが講演

2023年11月15日、「BBS FORUM 2023～SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)時代の人「財」を考える～」を開催しました。当日は当社代表取締役社長 小宮一浩の開会挨拶に続き、SXの基盤となる「人財」をテーマに3名のスピーカーによる講演を企画。その後、落語家 笑福亭里光師匠の高座や懇親会も行い、お客様とのコミュニケーションを深めるフォーラムは盛況のうちに終了しました。



笑福亭里光師匠によるBBS寄席。
古典落語に加え、情報セキュリティを題材にした新作落語も披露



開会挨拶に立つ当社代表取締役社長 小宮一浩



会場の受付ブース。多くのお客様にご参加いただきました



懇親会で乾杯の音頭をとる当社取締役 専務執行役員 井上典久



4年ぶりの開催となった懇親会ではお客様と当社社員が交流

基調講演

勝利に導くチームマネジメントと コミュニケーション

プロ野球 埼玉西武ライオンズの前監督としてチームを2年連続でパシフィック・リーグ優勝に導いた辻発彦氏。基調講演では、育成と勝利をともに実現するチームマネジメントとコミュニケーションについて、ご自身の経験をもとにお話しいただきました。さまざまな指導者のもとでの現役生活を振り返った辻氏は、「自らを厳しく律し、自分で考えて動くこと」「持てる能力を見極め、向上心を忘れず努力すること」が重要であると語りました。また、「選手の考えを尊重した対話で成長を促してきた」と監督時代のマネジメント手法もご紹介いただきました。



辻 発彦 氏
埼玉西武ライオンズ 前監督

BBS講演

人財トランスフォーメーションの勘所 ～サステナブルな組織構築に向けて～

金融庁が大手企業に対して有価証券報告書で人財資本に関する情報の開示を義務付けたこともあり、人財の重要性が改めて注目されています。企業がVUCAの時代に対応するためには、人財トランスフォーメーションによって、新たな価値を生み出し続ける“サステナブルな組織”への変革が不可欠です。そこでBBS講演では、つねに情熱を持ち、イノベーションを引き起こす“課題解決型人財”を確保するための採用・育成・定着化サイクルの要点や、行動改革を引き起こす施策など、人財トランスフォーメーションの実現に向けた勘所を紹介しました。



久茂田 善晃

株式会社ビジネスブレイン 太田昭和
理事 BPO統括本部 BPO業務企画部 部長

お客様講演

経営戦略と連動する 人財育成について

非財務資本の強化、人的資本経営の推進にあたっては、中長期的な経営戦略と連動した人財採用・育成戦略の立案が重要になります。キッコーマン様では、人財戦略のなかで経営戦略の実現に必要な人財要件を明確化し、その要件を充足する人財の確保・育成・配置を計画的に進めることで、持続的な成長をめざしています。お客様講演では、同社でCHOを務める松崎氏から、人財戦略の具体的な策定プロセスとともに、ダイバーシティ&インクルージョンをはじめ個々の能力を活かす社内体制・環境整備の取り組みをご紹介いただきました。



松崎 毅 氏
キッコーマン株式会社常務執行役員 CHO

講演内容の詳細は、Webサイトに掲載しています。ぜひご覧ください。



BBS、そしてお客様の未来を見据えて

個々の社員が活躍できる環境をつくり

お客様への価値提供と社会の発展に貢献し続ける

BBSは「お客様の発展の原動力となり利益増加と価値向上に貢献し、その成果を通じて社会に貢献する」ことを理念に掲げています。

この理念を実践していくためには社員一人ひとりの活躍が不可欠であり、個々の社員が成長し、持てる力を発揮できる環境の整備に注力しています。今号では、人的資本の強化に向けた取り組みをリードする2名が、代表取締役社長の小宮一浩と未来を見据えて意見を交わしました。

代表取締役社長
小宮 一浩



執行役員 RPA 研究所 所長
長崎 珠美



CPA 室 室長
小林 崇志

いつの時代も変わらない価値を お客様へ提供し続けるために

小林 企業を取り巻く環境が大きく変化するなか、BBSはどうあるべきだと考えていますか。

長崎 BBSの社員は、あらゆる場面で「それはお客様に貢献する



CPA 室 室長 小林 崇志

ことなのか？」と問われます。この姿勢は継続すべきものです。ただ、変化に合わせて、「お客様」を広く捉え直す必要はあると思います。目の前のお客様はもちろん、その先にいらっしゃるお客様、社員

やその家族も意識して、社会に価値を提供することが重要だと考えています。

小宮 社員には、社外や海外にも目を向けてほしいと考えています。見識を広げ、積極的に意見を出し合い、「これをやりたい」と提案してくれることを期待しています。

小林 社員の「やりたい！」にBBSは寛容ですね。以前、「その取り組みの実現に必要なら、新しい部門をつくってもいいよ」と言われたこともありました。

長崎 フットワークの軽さは、BBSらしさの一つだと思います。誰かの提案に周りがすぐ反応して意見を出し合い、ブラッシュアップしていく文化が根付いています。また、担当者の裁量幅が大きく、思いを提案として業務に反映できるので、成果が出た時は大きな達成感が得られます。

働く人に魅力的な企業であることが お客様への価値提供につながる

小宮 近年、SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)が注目されていますが、BBSがお客様から支持され、持続的に成長していくためには、優秀な人財が集まる魅力的な企業であることが不可欠です。

長崎 会計に興味を持つ人からすると、数字で物事を捉えるところ

ろはBBSの強みといえるでしょう。計数に基づいて、どのようにオペレーションすれば思いどおりの結果を導き出せるかを知っている。この環境で成長できることは、会計のプロをめざす人たちにとって大きな魅力だと思います。

小林 「会計」を広く捉えていることも、そうですね。一般的にイメージされる財務会計や管理会計だけでなく、ERP導入、販売・購買・原価といった上流領域、予算、さらにはDXや人的資本など、BBSの業務・事業領域はととても広い。そのぶんたくさん活躍のフィールドを提供できますし、人も企業も成長する好循環が生まれています。

小宮 確かに今のBBSは、「総合バックオフィスサポーター」として、経営会計のコンサルティングからシステムインテグレーション、BPOまでトータルに提供して、お客様の組織や人財、技術の成長・進化を支援しています。

小林 働きやすさもBBSの魅力だと思います。誰もがライフステージに合わせて希望の働き方ができ、仕事もプライベートも充実できます。

長崎 働きやすさに関しては、社訓で「お互いに相手の身になって助け合い、心のつながりを持つ」と明示していることが大きいと思います。社員をサポートする仕組みを整備し、「おたがいさま」と同僚をフォローする人財を育ててきたことは、重要な要素ですよ。

小林 こうした魅力を訴求して優秀な人財が集まり、お客様への価値提供に取り組んでいただけることを願っています。

未来に向けたキーワードは 「育児・介護」「管理職・リーダー職」「風土・文化」

小宮 もっと社員が活躍できる会社をめざして、いくつかのプロジェクを推進しています。その一つが「社員活躍推進委員会」



代表取締役社長 小宮 一浩



執行役員 RPA研究所 所長 長崎 珠美

です。私が委員長を務めていますが、長崎さんも参加していますよね。

長崎 3つある分科会にオブザーバーとして参加しています。活動内容について紹介すると、育児・介護をテーマとした分科会では現在、こども家庭庁ベビーシッター券制度をトライアル導入し、そのメリットや運用面の課題を検証しています。

小宮 管理職・リーダー職に向けた施策を検討する分科会で再確認したのが、管理職を志望する人財の減少です。

長崎 そこで、管理職をめざす若手社員が増えるよう、管理職を支える体制の拡充を検討しています。

小宮 もう一つ、女性管理職についても議論しています。

小林 女性社員の活躍について、BBSはかなり先行していると感じていますが。

長崎 活躍する女性社員は多くいますが、女性の管理職比率は社員構成から考えると低いですよ。

小林 能力で男女差を感じることは、ほとんどありません。むしろ、女性の方が緻密でいい仕事をしてくれることが多々あります。

小宮 そう考えると、評価はもちろん機会提供も平等に行うことをより明確にする必要があると考えています。女性管理職が増えることで、キャリアアップをめざす女性の入社が加速することを期待したいですね。

長崎 企業風土・文化をテーマとした分科会では、守るべき価値あるものを認識し、各社員が輝く会社にするための議論を重ねています。今検討しているのは、アイデアを全社員が見える場所に投稿し、部門を越えて意見交換できる仕組みを社内システム上につくることです。こうした取り組みがイノベーションや新事業の創出につながればと考えています。

小宮 経営や事業に対する提案は大歓迎です。意思を持つ社員が新しい道を切り拓き、成長の原動力になってくれると期待しています。お客様の成長と社会の発展に、これから力を合わせてがんばっていきましょう。

人的資本経営診断サービス

自社の取り組み状況を可視化し、企業価値向上のための最適な一手を

近年、日本でも関心が高まっている人的資本経営。企業が持続的に成長するために、人財力の強化は重要なテーマですが、「何から取り組めばいいのかわからない」という課題を抱えているお客様が多いのが現状です。BBSでは、自社の取り組み状況を可視化することで、人的資本経営を推進するための第一歩となる「人的資本経営診断サービス」を提供しています。

特長 1

サービスの利用は簡単、問診票に回答するだけ！



簡単な設問形式

数十項目の問診票にご回答いただき、お客様の取り組み状況を診断します。



自社の状況を見える化したレポート

人的資本経営で重視される事項を数値化した診断レポートを作成します。

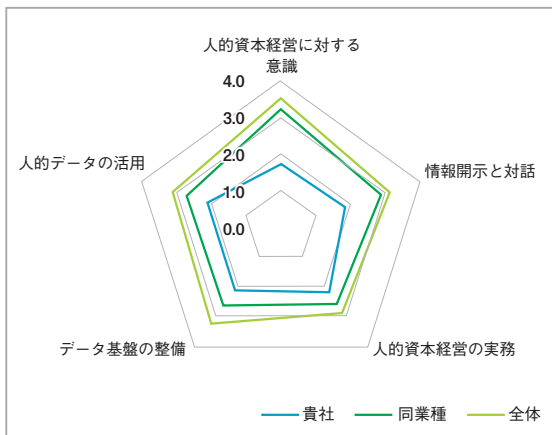


コンサルタントによる解説

経営を熟知した専門コンサルタントが診断結果を解説。具体施策の立案や実行も支援します。
※プレミアムプラン限定

特長 2

直感的でわかりやすい診断レポート



診断レポートでは、5つの大項目と16の中項目でお客様の取り組み状況を可視化するほか、ダイバーシティや人事関連の計数を集計します。各数値データは、同業種内企業および全社平均との比較も可能です。さらに、お客様の情報開示にフォーカスして、ワンポイントコメントも掲載し、次の施策につながる診断結果を提供します。



| 項目 | 貴社 | 全体 | 重要度 | ポイント |
|-----------------|----|----|-----|------------------------------------|
| 定期的に情報を収集している | △ | △ | 中 | 収集頻度を上げるとよいでしょう。メールや、システムを活用しましょう。 |
| 情報収集が高度化している | × | △ | 高 | 通常業務への負荷を抑えて情報収集を行う収集基盤が必要です。 |
| 情報収集が属人化していない | × | ○ | 高 | 担当者が変わっても情報収集ができるように、業務整理が必要です。 |
| 収集した情報を分析している | × | △ | 高 | 情報分析を行うことで、説得力のあるアクションが実行できます。 |
| 自社独自のKPIを設定している | △ | ○ | 高 | 貴社独自のKPIを増やすと、貴社の成長のストーリーを描けます。 |
| 分析結果を社内外に共有している | △ | ○ | 高 | 幅広い開示は、優秀人材の獲得や、離職率低下につながります。 |



さらに詳しい診断・解説を提供するプレミアムプランも用意しています。
詳細は、Webサイトをご覧ください。

受賞セレモニーを開催！



受賞セレモニーに出席した入賞者20名との集合写真

2023年8月2日、絵画コンクールの入賞者を
本社オフィスへ招待しました

社員が普段利用する執務エリアなどを見学



社長の小宮からお祝いのスピーチ



会議室「桜」からはビル街を一望



受賞者代表 鈴木優花さんのスピーチ



次世代を担う子どもたちの創造力、表現力を育む機会の創出を目的とし、全国の小・中学生を対象に、2020年から開催しているBBS絵画コンクール。その第1回～第5回までの入賞者の皆さんを招待し、本社オフィスで受賞セレモニーを開催しました。表彰式では、代表取締役社長の小宮から表彰盾と記念品を贈呈。(株)乃村工藝社のデザイナー 柏瀬久子氏による特別講演や当社オフィスの見学ツアーも実施しました。



受賞セレモニーの詳細は、Webサイトに掲載しています。

今号の表紙は第6回でBBS大賞を受賞した魚瀬諒寿さん(神奈川県)の『宇宙列車で出発!!』です。



第7回 BBS 絵画コンクールを開催します。
応募期間は2024年3月～6月！

今回のBBS絵画コンクールのテーマは2024年3月に発表予定です。Webサイトをご確認のうえ、ぜひご応募ください。たくさんのご応募をお待ちしております！



募集要項などについては、Webサイトをご覧ください。

BBS GROUP NEWS

グループの新着情報をダイジェストで紹介します。各ニュースの詳細は
右のQRコードからWebサイトでご覧いただけます。



「株式会社フレスコ」がBBSグループの一員に



会社紹介 株式会社フレスコ

所在地：東京都千代田区神田東松下町39番地
代表者名：代表取締役社長 長田 雅志
事業内容：CAD/PDMシステムの開発・導入
資本金：10百万円
従業員数：48名
設立年月日：1990年8月13日

2023年11月、(株)フレスコがBBSグループに参画しました。1990年に設立された同社は、東京都千代田区に本社を置き、約50名のシステムエンジニアが在籍しています。設立以来一貫してCAD/PDMシステムを受託開発しており、豊富な実績と優れた技術・ノウハウを保有しています。

生産管理システムを担うBBSと製品ライフサイクル管理の中核を担う(株)PLMジャパン社、そして(株)フレスコの3社の知見や技術・ノウハウを融合することで、製造業のお客様への一貫したサービスの提供が可能となります。BBSの事業のコアは、コンサルティング、システムインテグレーション、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)をトータルに提供する「BBSサイクル」。(株)フレスコの参画は生産管理におけるコンサルティングとシステムインテグレーションを拡充・拡大するものであり、お客様に付加価値の高い「経営会計サービス」を提供していきます。

BBS初のファミリーデー「オープンオフィス」を開催



2023年8月、BBS本社に社員の家族を招待し、「BBSオープンオフィス」を開催しました。

日本各地から30組以上の家族が参加し、遠く福岡から駆け付けてくれたケースもありました。運営スタッフも含めて総勢150名以上による大きなファミリーイベントとなりました。

詳しくはBBS Webサイトの「BBSオープンオフィス開催レポート」をご覧ください。

